

令和6年度ゼロカーボン宣言に係る講師等派遣事業

1 実施校

本宮市立和田小学校（4学年）

2 実施日

令和6年9月10日（火）

3 内容

「地球温暖化と私たちに出来ること」をテーマに、気象庁福島地方気象台調査官の桜井 美菜子氏による講演会を行いました。

地球温暖化の基礎知識、地球温暖化に伴う日本・福島県の気候の変化、防災気象情報の利活用方法など、今、私たちができることは何かを分かりやすく説明しました。



4 講演を聞いての感想

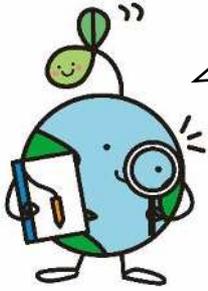
カーボンニュートラルとは、企業や家庭から出る二酸化炭素などの温室効果ガスを減らし、森林による吸収分などとして相殺して実質的な排出量をゼロにすることだとわかりました。

暑くなり、大雨がふって、洪水になってしまうことがわかりました。
本宮の店や、保育所が洪水になって作り直すのも大変だとわかりました。

ぼくは、地球温暖化が進まないように温室効果ガスを出さないようにします。そのために食べ物を残さず食べたいと思います。

地球温暖化は、人々にとって大変なんだと思いました。

地球温暖化により、地上付近の平均気温は高くなるだけでなく、とても高温な日の数も増加しているのということがわかりました。



福島県の環境保全の
キャラクター「エコたん」

講演を聞いて、自分にもできそうだったこと、やってみようと思ったことは何かな？また、それを実践してみてどう感じたかな？

• 食べ物を残さない

給食や、家の夕ごはんのときに、残さず食べ、むだづかいを減らしました。



• SDGs

住み続けられるまちづくりを
していきたいなと思います。



• 使っていない部屋の電気は消す

家で使っていない電気を消すことができました。これからも、節電を続けたいと思いました。



• 水を大切に使う

水を大切にすることができました。
使わないときは水を止めることをこれからも続けていきたいです。



令和6年度ゼロカーボン宣言に係る講師等派遣事業

1 実施校

福島市立北沢又小学校（6学年）

2 実施日

令和6年9月17日（火）

3 内容

「国がなくなる?! キリバス共和国と地球温暖化」をテーマに、一般社団法人日本キリバス協会代表理事のケンタロ・オノ氏による講演会を行いました。

キリバスの歴史や現状、また、地球温暖化が及ぼす影響について、資料映像（VTR）や写真を交えながら分かりやすく説明しました。



4 講演を聞いての感想

最初は、キリバスという名前も知らなかったけど、お話を聞いて、キリバスはいま危険な状態なのを知れました。なので、地球温暖化がいまよりもっと進まないよう、少しでも協力していきたいなと思いました。

キリバスでは、地球温暖化でキリバス人が困っている事を知りました。わたしは、地球温暖化の事を聞いた事はありませんでしたが、何がおこるかはよくわからなかったので、ケンタロ・オノさんの話を聞いてよくわかりました。地球温暖化で困っている人達のことを考えていろいろ行動していきたいです。

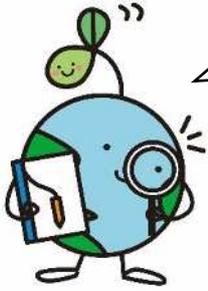
地球温暖化はホッキョクグマだけでなく、島や人の命までもうばってしまうと知りました。話もわかりやすく、写真もあったので、キリバスの状況を想像しやすかったです。私もCO2をへらせるようにがんばりたいと思いました。みんなにも知らせたいです。

私たちが環境を大切にしないと、世界の人たちが大変になったりするということがわかりました。キリバスは島の人たちは優しいし、島の景色はきれいだし、温室効果ガスの排出量は世界の0.0002%にすぎないのに、2050年までに5~8割が浸水するのは、島の人たちがとても悲しむと思いました。なので、私も自分にできる範囲で、環境を大切にしようと思いました。

ケンタロ・オノさんの話をきいて、少しの努力でもやれば自然はこたえてくれるという大事な事がわかりました。それに、キリバスがしずみかけているのなら小さいことでも努力してキリバスがしずむのを防ぎたいです。

地球温暖化はテレビなどで見てほしい分かってはいたけれど、こんなに被害が出ていたのは初めて知ってびっくりした。話を聞いて、楽しい島が悲しい島になりかけていると分かったので、これ以上被害が出ないように防波堤として、みんなに呼びかけたり、プラスチックやカーボンが出ないように、節約をすることが大切だと思った。世界中のみんなの希望をこわさないように努力したい。

ケンタロ・オノさんの話を聞いて、ぼくは地球温暖化がとても深くだと思いました。それに日本のプラスチックゴミがキリバスまで届いているとは思わなかったです。それにキリバスは豊かな自然があり、サンゴやサンゴの白い砂、魚、海、たくさんの自然があつてきれいだという事も同時にわかりました。その自然が地球温暖化によって失われていくということがわかり、大変だと思いました。



福島県の環境保全の
キャラクター「エコたん」

講演を聞いて、自分にもできそうだったこと、やってみようと思ったことは何かな？また、それを実践してみてどう感じたかな？

- ごみ拾い
- いろいろな人にキリバスについて教えてあげる

きれいになって心がスッキリしました。キリバスの事を伝えたら友達もいっしょにゴミを拾ってくれた。



- フードロスを減らす

食べ物のあまりを食べた。
食事をのこさず食べた。



- なるべくゴミを減らす
- 食べのこしをしない

水をこぼした時ぞうきんを使った。
だされた物をぜんぶ食べた。



- プラスチックをあまり使わない
- 食べ残しをしない

食べ残しをしなくなった。家族にもこのことを伝えて、家族で食べ残しを減らした。買い物の時もふくろを買うんじゃなくて、エコバックを使った。



- 近くに行く時は、車で送ってもらわないようにする
- むだな電気は消す
- 食べ物をむだにしない

食べ物は食べられる分だけよそって、ぜんぶ食べました。これからも続けていきたいです。学校に行く時に一度車で送ってもらってしまったので、朝はやく起きて、学校には歩いて行きたいと思いました。



令和6年度ゼロカーボン宣言に係る講師等派遣事業

1 実施校

本宮市立本宮第一中学校（全校生）

2 実施日

令和6年9月30日（月）

3 内容

「国がなくなる?! キリバス共和国と地球温暖化」をテーマに、一般社団法人日本キリバス協会代表理事のケンタロ・オノ氏による講演会を行いました。

キリバスの歴史や現状、また、地球温暖化が及ぼす影響について、資料映像（VTR）や写真を交えながら分かりやすく説明しました。



4 講演を聞いての感想

本宮だと地球温暖化の影響が暑いと感ずることしかなかったが、太平洋の島々では住む島がなくなるなど、とても大変なことが起きていると知って驚いた。小さなことでも大きなことにつながるということを知り、何かやってみようと思った。

「キリバス」という島を通して、地球温暖化でおこっている今の現状が分かった。今、地球温暖化がおこっていることで、海の水面が上昇したり、雨が降る年と、降らない年があるということを知ることができたので、日頃もゴミの分別など自分にできることをしたいと感じた。

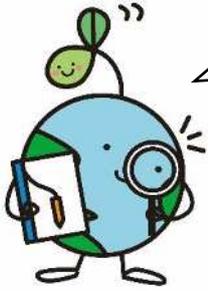
地球温暖化によって今までになかった風景になるのは改めて怖いと思いました。自分の好きな場所、思い出の場所が何年後には無くなっているかもしれないと思うと不安になりました。地球温暖化により、たくさん問題が起きている、外国だけではなく日本も、世界中が被害にあっているため、世界全体で協力していき、対策する意識が大切だと思いました。

日本では当たり前なことでもキリバスでは当たり前じゃないことが、とても心に残った。あんなにきれいな海でも、数年たつとみちがえるくらい変わっていて、とてもびっくりした。また、日本とキリバスでは関わりもあり、自分にできることは何かを考えさせられる良い機会になった。

地球温暖化は日本にあまりなじみのないものだと思っていて、他人事のように考えていたけれど、キリバスや沖縄など、意外と身近な所で問題が起きているとびっくりした。将来自分たちも快適に生きていけるように、誰一人見捨てず、ゴミの分別などできるかぎりのことをしようと思った。特に食べ残しをしないように心がけたいです！

私は、今世界で地球温暖化が原因でおこる良くないことを怖いと思っただけだったけど、今日の話を知り、悲しい思いをした人や、苦しい思いをかかえている人が本当にたくさんいることを知りました。私たちができていることが当たり前じゃないことや、今世界でおきていることをちゃんと知って、少しのことでも行動にうつしていきたいと深く思いました。

今日の話を知り、同じ地球で起きているとは思えないような被害で、とても心にささりました。キリバスに住んでいる子どもたちや、それ以外の国の人々の未来をかえられるのは私たちで、変えていかなければいけないと思いました。これからの地球のために、私ができる小さなことから行動にうつしていきたいです。キリバスに行ってみよう！



福島県の環境保全の
キャラクター「エコたん」

講演を聞いて、自分にもできそうだったこと、やってみようと思ったことは何かな？また、それを実践してみてどう感じたかな？

- 食品ロスを無くす
- ゴミ拾い

実際に適切な量で食事を取ったりすることを心がけました。本宮市内のゴミを拾って地域に貢献することを心がけました。



- 落ちているゴミは拾う
- 1日に出すゴミの量を減らす

小さいゴミでも見つけたらすぐに拾うことが出来ました。また、節約と同時にゴミの量も前よりは少なくなったと思います。これからも、キリバスや他の国を守るためにも続けたいと思いました。



- ペットボトルを分別し、あまり買わない

なるべく自分の水とうを使い、ペットボトルやプラスチックスプーンを使わないようにした。無駄な物を買わず、必要な物だけ買うことができたと思う。これからも分別をしたり、無駄な物を買わない努力をしようと思った。



- プラスチック（ペットボトルなど）をリサイクルしてゴミが増えないようにする

前よりは二酸化炭素やゴミが出ないように気を付けることができた。ペットボトルも積極的にリサイクルするよう意識した。地球温暖化がこれ以上悪化しないようにできることを探して取り組もうと思います。



- 小さいことでも、ゴミをひろったり、電気をけしたり、自分なりにできることを心がける

講演を聞いてから、小さいものでも教室に落ちていたゴミをひろったり、自分の部屋の電気をつかわないときはなるべく消したりと、自分なりにできることを実践することができました。これからもなるべく心がけていきたいです。また、それだけではなく少しでも自分にできることはやっていきたいです。



令和6年度ゼロカーボン宣言に係る講師等派遣事業

1 実施校

須賀川市立小塩江中学校（全校生）

2 実施日

令和6年10月1日（火）

3 内容

「国がなくなる?! キリバス共和国と地球温暖化」をテーマに、一般社団法人日本キリバス協会代表理事のケンタロ・オノ氏による講演会を行いました。

キリバスの歴史や現状、また、地球温暖化が及ぼす影響について、資料映像（VTR）や写真を交えながら分かりやすく説明しました。



4 講演を聞いての感想

改めてSDGsの大切さを知れました。私はときどき地球に悪いことを何の重みも感じずにやってしまっていました。ケンタロさんの話を聞き、今さら罪悪感と自分への怒りがわきました。だからこれからは、行動一つ一つに自覚を持ち、「the future we want」の言葉を希望に地球に優しい世界を作っていきたいと決めました。

とても熱のある授業をしてくださりありがとうございました。キリバスでは、異常気象が起きて、家などが破壊されているという事実を知り、とても残念だと思いました。少しのことで地球に優しいことをして、地球温暖化を促進させないようにしていきたいと思いました。そのために、常に意識を持って行動していきたいと思います。

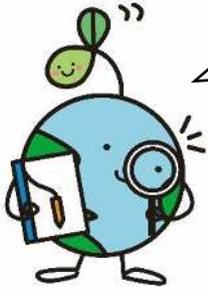
今回の講演会では、キリバス共和国の素晴らしさと、今、実際に起きてしまっている悲しい問題について知ることができました。あんなに素晴らしい景色や文化、人々達が、消え去ってしまうことのないように、これからは私達が小さなことから実せんしていきたいと思います。

今回の講演を聞いて、僕は今の状況は他人事ではないと改めて思いました。家では必要のないのに電気をつけてしまっていることもあるので、僕もSDGsを意識しなければいけないと感じました。他にも、自然を汚してしまうと、自然も災害として返してくるのは怖いと感じました。でも逆に言えば、自然を綺麗にする努力をすれば自然も良い事で返してくれるので、日頃から小さなことでもSDGsに関わるのなら積極的に行動していこうと思いました。

地球温暖化はすべて人間が関係していることがわかりました。僕たちが今できることは少ないかもしれませんが、地球温暖化が進まないようにするために、日常生活の中からゴミをひろったり、食べ物をのこさないようにしたりしたいです。

自分はケンタロさんの話を聞いて、今の自分にできる世界の未来のための行動が重要だと思いました。自分たちがゴミを捨てたり、ポイ捨てをせず、ゴミをしっかりと分けることで、海のプラスチック問題をなくすことができると考えます。自分たちのちょっとした行動一つで世界の未来を変えることができるので、自分はしっかりと今、自分にできることをやっていきたいと思いました。

私は地球温暖化について、すべて知っているかのように思っていたのですが、地球温暖化のせいで人が死んでしまう、国がなくなってしまう、ということは知りませんでした。他人事だとは思わずに、地球のために今私にできることを考えて過ごしていきたいと思いました。もちろん、自分1人にできることは限られているけれど、近くの人たちと協力し合って、この大きな問題と向き合っていきたいです。



福島県の環境保全の
キャラクター「エコたん」

講演を聞いて、自分にもできそうだったこと、やってみようと思ったことは何かな？また、それを実践してみてどう感じたかな？

- 食べ残しを出さない
- 紙やプラスチックをむだなく使う

キリバスのお話を聞いてから、お米ひとつぶも残さないよう意識しながら食べるようになりました。そのおかげで生産者さんたちに感謝して食べる大切さに気付きました。そして、紙やプラスチックをできるだけ最後まで使ったり、再利用するようにしました。



- ゴミの分別
- 節電、節水

ペットボトル飲料を飲み終わったら、ラベルとキャップを別々にして捨てることができた。また、お風呂の時に節水したり、電気を節電したりして生活することができた。



- 食べ残しをなくす

給食も残さず食べ、家でも苦手なものが出たときも命に感謝して食べることができました。また、買い物についていくときには、エコバックを持っていき、買い物することができました。



- ゴミの選別、処理

日常的にもペットボトルの処理やゴミをしっかりまとめて処理したりすることができたと思います。これからの生活でも意識しながら地球温暖化などの対策をしていきたいと思っています。



- 「本当に今必要なことか」、行動する前に一度考えてみたい
- 節電、節水、食品ロスを減らす
- リサイクルをする、いらぬものは買わない

生活する時、自分がいらない所についている電気を消したり、水はできるだけ無駄づかいしないようにしました。他にも寝る時電気を完全に消して真っ暗にしたり、食べ物は絶対に残さないようにしました。自分で出来ることが沢山あったので、これからも続けたいと思いました。



令和6年度ゼロカーボン宣言に係る講師等派遣事業

1 実施校

二本松市立安達太良小学校（5・6学年）

2 実施日

令和6年10月23日（水）

3 内容

「地球温暖化と私たちに出来ること」をテーマに、気象庁福島地方気象台調査官の桜井 美菜子氏による講演会を行いました。

地球温暖化の基礎知識、地球温暖化に伴う日本・福島県の気候の変化、防災気象情報の利活用方法など、今、私たちができることは何かを分かりやすく説明しました。



4 講演を聞いての感想

地球温暖化という言葉は聞いたことがあったけど、具体的には知らなかったので、今回の授業で知れてよかった。地球温暖化と気候変動の適応策などを自分で考えたり、分からないところは正しい対策を教えていただいて、生活の中でいかしたいと思った。

地球温暖化になると、平均気温が暑くなることだけではなく、動物や、人の病気にも影響するのだと初めて知りました。私は、この地球温暖化を少しでも良くするために、色々なことができると思って、今日からでもやってみようと思いました。最後に地球温暖化はとてもこわいと感じたので、対策する方法を考えていきたいです。

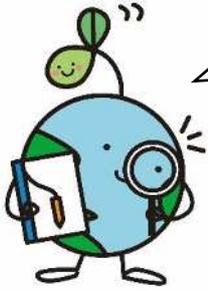
地球温暖化は人が原因だということが分かりました。また、地球温暖化は大雨をふらせたりすることを知って身近にあることを実感しました。家族にも聞き、くわしく調べてみたいなと思いました。

気候が変わっていくことを気候変動というのを知りました。CO₂が一番地球温暖化にかかわっていることも知りました。また節電をすることで、CO₂を削減できることを知ったので、これからは、できるだけ節電をするように心がけていきたいなと思いました。

地球温暖化のせいで、大雨になることを初めて知り、おどろいた。熱中症警かいアラートは、テレビの天気予報でみたことがあったけど、もっとくわしく知れた。節電の取り込みを呼びかけてるのに何故、電気自動車を進めるのか気になった。

初めて聞いた言葉のことも、くわしく分かった。地球温暖化をふせぐための取組がたくさんあることが分かった。CO₂をへらすための取組のことも知れたし、考えることができた。

桜井さんの話を聞いて、地球温暖化にもいろいろな影響があることがわかりました。二酸化炭素をへらすために自動車を電気自動車にしてみたいと思いました。



福島県の環境保全の
キャラクター「エコたん」

講演を聞いて、自分にもできそうだったこと、やってみようと思ったことは何かな？また、それを実践してみてどう感じたかな？

- ・ 気候に合った服装をしたり、アイテムを選んで着る

鼻水が少しでていたけど、服装に気を付けていたら治ったし、1日を快適に過ごせるようになったので、これからも続けていきたいです。



- ・ 節電、節水

水道の水が出しっぱなしだったときにしめたり、付けっぱなしの電気を消したりすることができた。



- ・ 1日に出すゴミの量をへらす

ゴミを出す食べ物や飲み物の量をへらすことに取り組みました。実際にゴミをへらすと、1日に出すゴミの量がたくさんあることが分かったので、これからも1日に出すゴミの量をへらしていきたいと思いました。



- ・ 節電を心がける

勉強が終わったらすぐに電気を消せた。
テレビを見たあと消した。
暖房をつかわず、防寒着などを着てすごした。



- ・ 使っていない場所の電気は消す

「使っていない場所の電気は消す」ということだけでもCO2を削減できるというのを聞いて、びっくりしました。私がやったことは使った所の電気を消す、テレビを見ていなかったら消す、などです。こんなかんたんなことでCO2を削減できるなら、もっと前からやっていればよかったなと思いました。これからも、地球温暖化をすこしでもくいとめるために、自分にできることはやっていきたいです。



令和6年度ゼロカーボン宣言に係る講師等派遣事業

1 実施校

須賀川市立義務教育学校稲田学園（5・6学年）

2 実施日

令和6年11月5日（火）

3 内容

「国がなくなる?! キリバス共和国と地球温暖化」をテーマに、一般社団法人日本キリバス協会代表理事のケンタロ・オノ氏による講演会を行いました。

キリバスの歴史や現状、また、地球温暖化が及ぼす影響について、資料映像（VTR）や写真を交えながら分かりやすく説明しました。



4 講演を聞いての感想

今日の話聞いて、キリバスはすごくいい所だと思いました。そして、地球温暖化は「人」が起こしていることだから「人」が直すことができると言っていたので、自分たちでできることから少しずつやって、まわりの人にも声がけしていきたいです。他にも地球温暖化のせいでたくさんの命がうばわれたり、人の思い出すらこわしてしまうということも分かりました。これからそんなことがおこらないように、少しずつがんばります。そして、希望を持って強い意志で行動したいです。

地球温暖化がとても悲しいことだと知った。今までは意味が分からなくて自分には関係のないことだとおもっていた。でも、話を聞いて、自分たちにもたくさん関係していることが分かった。話を聞いている時にとっても心が痛かった。いろいろな所が地球温暖化で苦しんでいることが分かった。どれだけ苦しいことがあっても希望を捨てないでという言葉はとてもよかった。

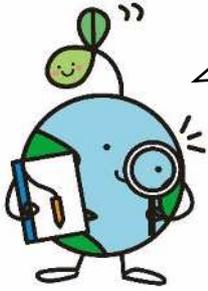
「この子たちの目をみてでも言えますか？君たちごめんね、もうしずむから。さようなら」私はハッとしました。人がやった人災で、ホッキョクグマだけではなく、同じ人間でそれも赤ちゃんの命。それを考えてもいない。1人1人がゴミをひろえばそうならなかったのに。私は小さな事からSDGsをやっつけていこうと思います。「愛の反対は無知と無関心」それを頭にいれ、生きて行こうと思います。

キリバスの海は魚の重さよりゴミの重さが多くなってしまふかもしれないときいておどろきました。ゴミを一つ拾う、無駄な電気は消す、こういった小さいことから始めていこうと思いました。キリバスはとてもきれいな場所でした。だからしずまないようにがんばりたいと思いました。海も空気も日本とつながっていることをわすれません。

最後の写真の子どもたちの目を見て私は「がんばろう」と思いました。何に対して「がんばろう」と思ったかという、キリバスのように貧しい国の人のためや地球、世界のためです。「これって本当に必要？」と0.1秒考えたり、ゴミを拾ったり、小さなことから行動していきたいと思いました。そして貧しい国の人たちや、地球、世界を救う「希望」を持ち、生活していきたいと思いました。

ぼくはオノ先生の話の中で人間がいいことをすると自然がこたえてくれるという言葉が心に残りました。だからそのことを信じていきます。そして0.1秒でもいいのでちゃんと自分で必要か考えて生活していきたいです。キリバスという国は知りませんでした。あのきれいなキリバスをみて絶対に守ろうと思いました。

ぼくはこのお話を聞いて、キリバスに住んでいる人が日本からでるプラスチックごみのせいでなやんでいると知り「日本が最後の防波堤なのに自分たちがなやませてどうするんだ」と思いました。だから自分たちでできるちいさなことからやっつけていこうと思いました。ささいなことだけどキリバスにつながりますように。



福島県の環境保全の
キャラクター「エコたん」

講演を聞いて、自分にもできそうだったこと、やってみようと思ったことは何かな？また、それを実践してみてどう感じたかな？

・食べ物をそまつにしない

給食を残さず食べることは今までできていたので、これからも続けていきたいと思います。エコバックは逆に1000回以上使わないとエコじゃないということにびっくりしました。自分に出来る事を探して、実践したいです。



・ゴミをひろう

ティッシュのゴミやマスクのゴミなどを自分からひろって捨てました。これからもつづけたいと思います。そしてキリバスの子の気持ちを考えながら生活していきたいと思います。



・1日に出すゴミの量を減らす

ティッシュを多くとりすぎないようにしたり、食べ物をのこさず食べるようにしました。これからもこんな小さなことを続けていきたいです。ぼくの小さな行動がキリバスの子につながるとしんじています。



・ゴミをひろったり、食べ物を残さないようにする

節水（電）を家でできるようにしたり、家の人と買い物に行くときにエコバックを持っていったり、給食などを残さず食べたりなど、これからも心がけていきたいです。



・節電

・3R

節電では、私ははやく学校に行くので、1人や2人、3人などの少ない人数のときは、電気を消していました。そして3Rでは、使い終わったトイレトペーパーのしんやキャップ、ピンなどで弟と工作をしました。0.1秒でもいいから考えて1日ずつ自分ができることから始めます。これからも地球のためにやっていきたいです。



令和6年度ゼロカーボン宣言に係る講師等派遣事業

1 実施校

福島市立庭坂小学校（5・6学年）

2 実施日

令和6年11月6日（水）

3 内容

「国がなくなる?! キリバス共和国と地球温暖化」をテーマに、一般社団法人日本キリバス協会代表理事のケンタロ・オノ氏による講演会を行いました。

キリバスの歴史や現状、また、地球温暖化が及ぼす影響について、資料映像（VTR）や写真を交えながら分かりやすく説明しました。



4 講演を聞いての感想

ケンタロ・オノさんがキリバスが大好きなのがすごく伝わってきた。キリバスがどんな国で、どこにあるのかも分かった。地球温暖化のせいでキリバスがなくなり、みんなの思い出の場所がなくなるなんて、つらい。「希望」を持ち、SDGsを大切に、小さいことから地球の役に立ちたい。「愛の反対とは、無知と無関心」だから。

最初はゼロカーボンってなに、むずかしそうと思っていたけど、話を聞いてみると、とても分かりやすい説明で、楽しく学ぶことができました。キリバス共和国と福島の関係についても知ることができ、地球温暖化で困っている人がたくさんいるということも分かりました。自分にできることをやっけていこうと思いました。

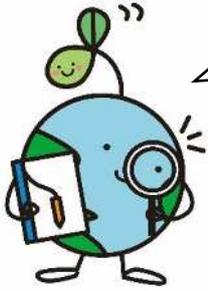
キリバスと日本のつながりや地球温暖化、今の世界の現状についてくわしく知ることができました。今まで私は「地球温暖化」について考えることがあまりありませんでしたが、今回のお話を聞いて、今自分ができることを考え、行動しようと思えました。

地球温暖化が自分達のせいで進んでいることが初めて分かりました。地球温暖化が進んでしまうと、自分の国もですが、キリバスの土地が波でけずられることが分かりました。地球温暖化でふるさとがなくなることはいやなので、わたしは、自分ができることをしっかり行動に移そうと思いました。

私はキリバスという国を初めて聞きました。キリバスという国はとても海がきれいでした。とてもきれいな海がゴミだらけになっていた映像を見て、私もゴミを減らさないといけないとダメだと感じました。また、地球温暖化により、このままではキリバスがなくなるかもと聞き、私は食べ物をむだにしないことと、むだな電気は消すことの2つを特に意識して生活していきたいです。一人一人の毎日の生活でこの世界をよくすることができるので、まずは自分が意識して、誰一人取り残さない世界にしたいです。

キリバスの話を通じて、地球温暖化が身近にまで迫っており、自分のふるさとや思い出までもこわしてしまう大きな問題だということがわかった。講演によって、より地球温暖化についての関心が高まった。

キリバスという国がもしかしたら、地球温暖化で無くなってしまおうという話を聞いてとてもおどろきました。「地球温暖化は人々が起こしたもの」皆が協力することで地球温暖化は無くなると聞き、自分もがんばろうと思いました。



福島県の環境保全の
キャラクター「エコたん」

講演を聞いて、自分にもできそうだったこと、やってみようと思ったことは何かな？また、それを実践してみてどう感じたかな？

・食べ物、飲み物を残さない

食べ物を残すことはなかったけれど、飲み物を残してしまうことがありました。食べ物を残さないことは、これからもつづけていきたいと思いました。飲み物は飲める量だけコップに入れて飲むようにしたいです。



・ゴミを出す量を減らす

使えそうな紙くずは使って作りました。ゴミの量が減りました。ティッシュを無駄遣いしないようにしました。使えそうなプラスチックを使って作りました。ゴミの量が減るとすっきりしました。



・無駄な電気を使わない

電気が必要なとき以外は使わないように気をつけました。いつもは、ねるときに電気をつけていたけれど、つけなくてもいいなと思ってやめました。これからも無駄な電気をつかわないようにすることを心がけたいです。



・節電、節水、4Rに取り組む

節電では、つかっていないところの電気を消したり、昼間は少し暗いときはカーテンを開けて日光を取り入れたりしました。節水では、顔を洗うときはできるだけ水をじゃ口から出さないようにしました。4Rでは、プラスチックを分別して捨てたりして、少し動くだけで地球によいことができるというのが分かりました。



- ・出すごみの量を減らす
- ・家の周りに落ちているごみを拾う

出すごみの量を減らすことは思ったよりむずかしかったです。なので家の周りに落ちているごみを拾うことを積極的にがんばりました。遠くまでは行かなかったのですが、少ししかごみを拾えませんでした。キリバスに届くごみが少し減ったと考えるとうれしくなりました。1人でも「地球温暖化・遠い国」の現状について考え行動することが大切だと思いました。



令和6年度ゼロカーボン宣言に係る講師等派遣事業

1 実施校

いわき市立好間第一小学校（6学年）

2 実施日

令和6年11月13日（水）

3 内容

「地球温暖化と私たちに出来ること」をテーマに、気象庁福島地方気象台調査官の桜井 美菜子氏による講演会を行いました。

地球温暖化の基礎知識、地球温暖化に伴う日本・福島県の気候の変化、防災気象情報の利活用方法など、今、私たちができることは何かを分かりやすく説明しました。



4 講演を聞いての感想

地球温暖化のことがよくわかりました。昔より今の方が気温が高くなってしまっているから適度な気温を保って、二酸化炭素を減らす工夫をしていきたいと思います。省エネ、節電をしっかりとしたり、水をむだにすることは絶対にしないようにしたいです。

地球温暖化が進んでいて、世界が危ない状態だと知っていたけど、なんで地球温暖化が進んでいるのか、どうすればよいのか分かりませんでした。ですが今日の授業を通して、自分にもできることがあると分かりました。家でも今日学んだことを実践したり、大人に伝えたりしたいと思います。

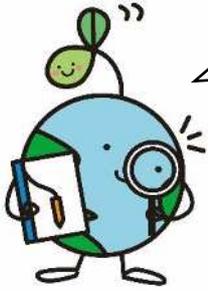
年々二酸化炭素が増えていることや温室効果ガスがどんなものかが知れてびっくりしたので、私たちにできる事をこれからも続けたいです。

IPCCや温室効果ガスという知らない言葉を聞けたし、地球は思った以上に温暖化が進んでいるんだなと改めて実感しました。

今、地球でおこっている気候変動などの勉強をして地球温暖化を止められるような活動を少しでもしたいなと思いました。

地球温暖化が進むと悪い影響があるので緩和策と適応策を大切にして自分たちでできることを考えてやっていきたいです。

学ぶことが沢山あった。気象台の仕事に興味をもった。こういうのが中学生でもあったらうれしい。



福島県の環境保全の
キャラクター「エコたん」

講演を聞いて、自分にもできそうだったこと、やってみようと思ったことは何かな？また、それを実践してみてどう感じたかな？

- 食品ロスをしない
- 節電をする

実践しました。食品ロスもしなかったし電気を消して節電できた。無意識だと電気をつけたままにしそうになったのでこれからも気をつけたい。



- 緩和策で服そうなどを考えて行動する

実践してみました。家族と服そうを考えました。温かいとき寒いときと服そうを変えていると一日が過ごしやすくなりました。これからも服そうを考えていきたいです。



- 移動をするときなるべく歩いたりする

修学旅行で花やしきから浅草仲見世通りまで歩きました。歩いた方が周りの建物がよく見えたのでよかったと思います。気候の問題などを少しでも良くすることができて、健康にもよいと思いました。



- 野菜を食べる
- 気温に合わせて服を変える

野菜をいっぱい食べるようにした。さむい時も長そでを着たり、あつかったら半そでを着るようにした。食べれるものが増え、暑いとか寒いをあまりいわなくなったり、天気予報をかくにんする日が増えた。



- ごみをへらす
- 節電する

手を洗ったあと、ティッシュでふいていたのをタオルでふくようにしました。あと、カーテンを開け、光をなるべく入れて電気をつけなくていいようにしました。簡単にできたので、他にも改善できることがないか探して考えて行動してみようと思います。



令和6年度ゼロカーボン宣言に係る講師等派遣事業

1 実施校

南会津町立荒海小学校（4・5・6学年）

2 実施日

令和6年11月27日（木）

3 内容

「国がなくなる?! キリバス共和国と地球温暖化」をテーマに、一般社団法人日本キリバス協会代表理事のケンタロ・オノ氏による講演会を行いました。

キリバスの歴史や現状、また、地球温暖化が及ぼす影響について、資料映像（VTR）や写真を交えながら分かりやすく説明しました。講演会后に意見交換も実施しました。



4 講演を聞いての感想

キリバスの今について詳しく分かった。地球温暖化で国や村がなくなったり、プラスチックごみが魚の量より多くなってしまおうということなど、自分達でやってしまった問題を聞いて「自分がやってしまったことで住めなくなる人がいるんだ」と思いました。次から自分で進んでできることはやってみたいです。

私は、ケンタロ・オノさんのお話を聞いて、1才から3才の子がしょっぱい水を飲んで死んでしまうのがとてもかわいそうだと思いました。なので、そんな子やキリバスのためにも、食品ロスや森林伐採を減らして、森や川、海にごみをすてないようにして地球温暖化を止めたいです！

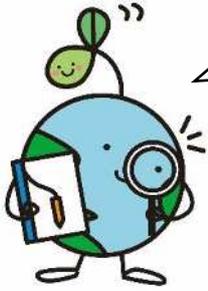
ケンタロ・オノさんのお話を聞いて、ぼくは、ポイ捨て防止や節電に協力したいと思いました。理由は、地球温暖化のせいで、キリバスが沈むことを知って、少しでも地球温暖化を止めたいと思ったからです。

ケンタロ・オノさんに、最後に言われた「希望を失わない」という所が心に残りました。ぼくは、1度だけ人生を失いかけた時がありました。それでケンタロ・オノさんが言った「希望を失わない。」で「ああ、じゃあこれから希望を失わずに人生を歩んでいこう。」と思いました。ケンタロ・オノさんありがとうございました。

ケンタロ・オノさんの講演を聞いて、キリバスがとてもきれいなことが分かりました。でもキリバスが危険なことも分かりました。キリバスに行ってみたくになりました。キリバスがなくなりそうと聞いて、とてもかなしくなりました。学校にトイレやイス、机があるのはあたりまえではないのも分かりました。日本に生まれて良かったと思いました。自分が南会津町長さんになったらの意見交換がとても楽しかったです。

今日、ケンタロ・オノさんの話を聞いて地球温暖化が起こるのは人間のせいだと分かりました。ぼくが燃料を使ったら地球温暖化になるかもしれないって思うと怖くなりました。ぼくは、これからキリバスのことをもっと知りたいと思いました。

キリバスの海がきれいだったから海面上昇をとめたいです。あと日本がトップクラスに食品を捨てていることを知ってびっくりしました。



福島県の環境保全の
キャラクター「エコたん」

講演を聞いて、自分にもできそうだったこと、やってみようと思ったことは何かな？また、それを実践してみてどう感じたかな？

・フードロスを無くす

朝、昼、夜の食事を残さずに食べられました。これを毎日続けられるようにがんばります。



・節電をする

なるべく電気を使わずに生活していると、日常的に節電ができるようになりました。具体的に言うと、部屋を出る時に、電気を消したりすることです。



・ごみ拾い

ごみをたくさん拾いました。1番多かったのはお菓子の袋でした。ぼくは、もう捨てないでほしいと思いました。



- ・節電
- ・食べ物を無駄にしない

だれもない部屋の電気を消したり、食べ物を無駄にしないようにしたりすることができました。



- ・節水
- ・手を洗っている時、水を止めながら手を洗う

家や学校で手を泡で洗っている時、水を止めたり、洗い物をしている時に水を止めることができた。毎日やれば水道代などもかからない。家族やおばあちゃん、おじいちゃん、いとこ、友達にも声をかけようと思いました。水は出せばなしにすると1分間に1Lも！流れる。



令和6年度ゼロカーボン宣言に係る講師等派遣事業

1 実施校

喜多方市立会北中学校（全校生）

2 実施日

令和6年12月5日（木）

3 内容

「国がなくなる?! キリバス共和国と地球温暖化」をテーマに、一般社団法人日本キリバス協会代表理事のケンタロ・オノ氏による講演会を行いました。

キリバスの歴史や現状、また、地球温暖化が及ぼす影響について、資料映像（VTR）や写真を交えながら分かりやすく説明しました。



4 講演を聞いての感想

地球温暖化は、小さな命をたくさん奪ってしまう物だと分かりました。今自分が出来ること、小さなことでもいいから、積極的に行動をしていきたいです。そして、地球温暖化について、家族と話してみたり、考えていきたいです。希望や思いを忘れずにこれからも生活をしていきたいと思いました。今日は、本当にありがとうございました。

地球温暖化という言葉と意味は、だいたい知っていたけど、今日、話を聞いて、キリバス共和国と地球温暖化についてもっと知ることができました。地球温暖化は大切な思い出や人を奪ってしまうので、今自分にできることを行って、みんなが幸せな世界を少しずつでもつくっていききたいと思いました。

キリバスの人々が普段していたことが、地球温暖化が少し進行するだけでできなくなってしまふことが分かりました。1つの世界の中でみんなつながっているということについて学びました。これからは自分でできることを少しずつ行っていききたいです。

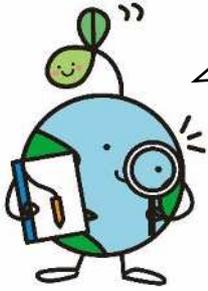
一人一人が意識して、生活することが大切だなと思いました。

みんなの行動によって、未来がいい方向にも悪い方向にも進んでしまうということを忘れずに、これから生活していきたいと思いました。誰も取り残されないみんなの望む世界になるように、地球の一員として節電や、節水などできることをしていきたいと思います。

人間が化石燃料を使いすぎたりポイ捨てをしてしまうことなどが地球温暖化につながるということが分かりました。

キリバスという国は、すごく自然豊かできれいな国で驚きました。キリバスは、2050年に沈んでしまう危機なので日々の地球温暖化対策をし、ちょっとしたことでたくさんの命が奪われてしまうことを考えていきたいです。この喜多方市が、山も川もあり普通に生活できるのも、この自然のおかげなので誇りに思っています。

初めてキリバスという国を知って、最初は、海や空が青くて、砂浜が白くて、とても南国ならではの風景がある美しい国だということを知ることができて嬉しかったです。しかし、そんな、美しい国も、地球温暖化の影響で無くなってしまふかもしれないという話を聞いて、改めて、地球温暖化の恐ろしさを知ることができました。これからはSDGsなどを自分ができる範囲で行動して、日本だけではなく、地球に優しく行動できるようにしたいです。



講演を聞いて、自分にもできそうだったこと、やってみようと思ったことは何かな？また、それを実践してみてどう感じたかな？

福島県環境保全の
キャラクター「エコたん」

- 節電
- 節水

節水と節電はちょっと出来たと思いました。家での歯みがき中、出しっぱなしにしていた水をとめたり、さしっぱなしにしているコンセントを抜いたりしました。これからは地球温暖化を気にしながら生活したいです。



- 節電、節水
- 食事を残さず食べる

毎日、朝、昼、晩の食事を残さず食べられました。

また電気や水を使っていない時は、しっかり止めて、節電、節水をしっかりできました。



- 必要ない時は、ストーブやエアコンはつけない

教室から移動するときは、電気を消したらストーブも忘れずに消すことができました。こういう行動を毎日、家や学校で忘れずにこれからやっていこうと思います。



- 節電や節水
- ごみの分別

節水やごみ分別をすることができました。家でも節水や節電を心がけるようになったり、地球温暖化のニュースも、積極的に見るようになりました。



- 食べ物をなるべくのこさないようにする
- 電気の無駄使いをしない

私は、給食や、家での夜ごはんを残してしまうことがあるのでそれを減らせるように、自分の食べられる量だけ分けることや、苦手な食べ物でも食べてみることを意識しました。前よりも残すことが減ったのでこれからも続けていきたいです。電気の無駄使いをしないということについては、部屋を出るときに電気を消すことを忘れてしまうことがありました。なのでこれからはもっと意識して過ごしたいです。



令和6年度ゼロカーボン宣言に係る講師等派遣事業

1 実施校

喜多方市立山都小学校（5学年）

2 実施日

令和6年12月10日（火）

3 内容

「国がなくなる?! キリバス共和国と地球温暖化」をテーマに、一般社団法人日本キリバス協会代表理事のケンタロ・オノ氏による講演会を行いました。

キリバスの歴史や現状、また、地球温暖化が及ぼす影響について、資料映像（VTR）や写真を交えながら分かりやすく説明しました。



4 講演を聞いての感想

地球温暖化による海面上昇で、キリバスで前までビーチだったところにまで波がきたり、その海水でビーチにあった植物が枯れたりしていることがわかりました。さらに海面上昇でキリバスに住めなくなるかもということがわかりました。そして、キリバスの話じゃなく地球温暖化は他の国々にも影響があることがわかりました。

キリバスは、地球温暖化のせいで2050年には最悪80%が海に沈むと知りました。人間が、森林を伐採したり、海にゴミを捨てたり、海を埋め立てすぎたり、食べ物を捨てすぎたから、地球温暖化になったんだなと思いました。

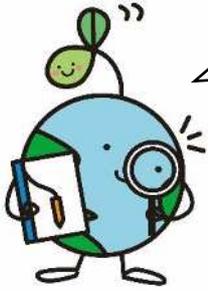
ケンタロ・オノさんの地球温暖化を無くしたい！という強い思いから、私は、地球温暖化をなくすために何をしたらいいか自分に何ができるのかを考え、地球温暖化をすこしでも減らせたらいいなと思いました。

キリバスのことに対してすごく話を聞けました。キリバスは自然豊かですばらしい国で、地球温暖化でなくなってしまう、つぶれてしまう可能性があるのだとわかりました。地球温暖化を防ぐためにがんばりたいと思いました。

今までキリバスという国があると分からなかったけれども、今そのキリバスで、経験した事のない、高波や、大雨で今までであった風景や島がなくなっている事がわかりました。このような事が続かないように私は、食品ロスを減らしたり、1日に出すゴミの量を減らしたいです。

キリバスは、海がキレイで魚もいっぱいいてすごいなと思いました。だけど、人間のせいで今、キリバスが危ないことになっていることがわかりびっくりしました。これから、キリバスが沈まないようにぼくたちも希望をもって、日本から、キリバスの人たちを応援したいと思いました。

地球温暖化は多少ほったらかしにしていってもいいと思っていましたが、キリバスという1つの国がなくなるのは阻止したいと思いました。そして地球温暖化は人が起こした人災ということもわかりました。あとただのヤシの木1本も1つの命ということがわかりました。



福島県の環境保全の
キャラクター「エコたん」

講演を聞いて、自分にもできそうだったこと、やってみようと思ったことは何かな？また、それを実践してみてどう感じたかな？

・食品ロスをなくす

食品ロスをなくすために、どれだけ残したかチェック表を作ったり、ポスターで呼びかけたり牛乳パックを洗ってリサイクルしたりして地球にやさしいことをやっています。少しでも地球の負担をなくすために食品ロスを無くすために取り組んでいます。



・プラスチックのリサイクル

班でプラスチックのリサイクルを始めました。プラスチックのごみを入れる用の箱やポスターを作りプラスチックを減らす工夫をしました。これからもプラスチックを減らせるようにがんばりたいです。



- ・リサイクル
- ・ごみの分別
- ・節電

地球温暖化防止について実践したことは、リサイクル、ごみの分別、節電です。このことは、自分一人ではなくクラスみんなで協力して決めたことです。今だけでなく今後もずっと続けて数十年後の未来を明るく元気に楽しくしていきたいと思いました。



・みんながいない時は電気を消す

地球を守るために私は節電をしました。みんなが着替えをしている時や、電気が必要ない時に消すことができました。5年生の皆と協力しながらもがんばることができました。地球温暖化を少しでも無くすために節電、リサイクルを今やっています。節電をたまに忘れてしまっていたときも、気づいたら消すことができました。これからも節電を続けていきたいです。

